

技術士 2 次試験に合格して



金子 泰久

(かねこ やすひさ)

勤務先

岩田地崎建設株式会社

土木部工事課

〒060-8630 札幌市中央区北 2 条東 17 丁目 2 番地

TEL 011-221-2205 FAX 011-221-5432

E-mail yas@iwatachizaki.jp

■ 専門：建設部門(トンネル)

自己紹介

愛知県生まれの今年 50 歳になるおじさん(初老?)の技術者です。思えば、小・中学校は公立のお受験なんて関係ない学校。高校、大学受験も勉強するのが嫌で、その時の学力で入れそうな学校を必死で探して受験をしてきた、筋金入りの勉強嫌いです。そんな私ですが、今回技術士となることができました。この機会に勉強嫌いのおじさんが技術士になるまでを振り返り、記すことでどなたかのお役に立てればと思います。

受験動機

一番の動機としては、当時の現場で一緒に働いていた若者が、一次試験に合格したことが刺激になり、なら自分も。と考えたことでしょうか。

当時は受験を軽く考えており、一応大学を出ているから一次試験は余裕でしょう。と甘く考えていました。

一次試験受験

動機的一端となった若者に、使用した問題集や参考書を借りることにしたのですが、冊数にして 10 冊弱の大量の問題集、参考書が。一次試験を甘く見ていた私の気持ちを粉砕してくれました。

粉砕された心をやる気の方向へ向けたものは小さなプライドでしょうか。周囲の人たちに受験を公言していたので、「問題集の多さに挫折した」なんて口が裂けても言えないな。と考へ、大量の問題集に向かい合うことができました。よく言う禁煙のコツと同じですね。勉強に乗り気になれない方にはお勧めの方法です。また、いざ問題集に向かい合うと、習った記憶はあるけど詳しく覚えていない。といった問題が多く苦労しました。もし受験を考えている方が本稿をお読みであれば、勉強の記憶が残っているうちに少しでも早く受験対策を開始することをお勧めします。また、仕事がどんな状況であっても、一日

30 分は必ず問題集に向かうように決め、それを実行しました。今思えば人生で一番勉強をした 4 カ月間だと思います。努力の甲斐あってか、無事に一次試験を合格できました。

二次試験受験

当社では先輩技術士の方々が二次試験対策の講義を行ってくれるのですが、一次試験突破で気が抜けていた私は、勉強もそこそこに、1 回目の二次試験に挑みました。試験問題と向き合うと、対策講義で諸先輩方の言っていたことが頭をめぐり、もっと真剣に聞いておけば良かった。と後悔しました。結果は案の定、不合格の判定でした。ただ、試験の本番で諸先輩方のおっしゃっていたことが理解でき、その日から 2 回目の受験に向けての準備を始めました。1 回目の受験で、二次試験は知識を問われるより、その知識を生かした思考方法やその考察を問われると感じたため、一次試験のような机に向かい問題を解く勉強方法ではなく、日々の業務の中で、問題点やアプローチの仕方等を試験を想定してまとめる。ということをや約 1 年間くせにして行い、今回技術士の仲間入りを果たすことができました。

おわりに

試験を振り返ると、学生の時に行っていたような勉強は一次試験までで、二次試験は今まで現場で体験したことが自分の身となっているかが重要であった気がします。試験とは直接関係ありませんが、現在まで現場で指導してくださった上司、仲間、また頼ってくれた部下の皆さんが今回の結果に大きく力をくれたものだと思います。またあわせて、試験対策を指導してくれた皆様にも改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。今後は技術士として、後輩の育成により力を注ぎ、一人でも多くの技術士仲間が増えるようにしたいと思います。